

阿蘇市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期特定健康診査等実施計画

期間:平成30年度～平成35年度

- 目的　阿蘇市国民健康保険被保険者の健康増進による医療費の適正化
- 計画の位置づけ
- 保健事業の実効性を高めるため、特定健診及び特定保健指導を定めている「国民健康保険第3期特定健診等実施計画」と「データヘルス計画」とは一体的に策定。また、「第2次阿蘇市総合計画」、「阿蘇市健康増進計画」、「阿蘇市介護保険事業計画」と整合性を図る。
- 計画期間　平成30年度から平成35年度の6年間とする。
- 計画の評価
- ①目標の指標に関する評価を実施(毎年)　②計画の中間年度(平成32年度)に中間評価実施　③最終年度(平成35年度)に最終評価を実施

☆第1期保健事業計画の評価(H25年度とH28年度の比較)

1)生活習慣病(目標疾患)が、医療費に占める割合

↑上昇

↓下降

2)特定健診受診率と特定保健指導実施率、メタボ該当者

年度		総医療費	●中長期目標疾患（慢性腎不全・脳血管疾患・虚血性心疾患） ●短期目標疾患（糖尿病・高血圧・脂質異常症）医療費合計		中長期目標疾患			短期目標疾患		
			金額	割合(%)	慢性腎不全 透析有(%)	脳梗塞 脳出血(%)	狭心症 心筋梗塞(%)	糖尿病 (%)	高血圧症 (%)	脂質異常症 (%)
H 25	阿蘇市	28.9億円	7.3億円	25.3%	6.20%	2.11%	1.65%	5.56%	6.65%	3.11%
H 28		↓25.5億円	↓6.8億円	↑26.8%	↑8.27%	↓2.01%	↓1.51%	↑6.12%	↓5.06%	↑3.67%
H 28	熊本県			22.8%	6.84%	1.97%	1.29%	5.26%	4.61%	2.58%
H 28	国			23.1%	5.40%	2.22%	2.04%	5.40%	4.75%	2.95%

		H25	H28	国の目標
特定健診受診率 %	阿蘇市 (同規模順位)	41.5% (80位)	↑44.7% (66位)	60%
	同規模	35.5%	38%	
特定保健指導実施率 %	阿蘇市	79.2%	↓66.3%	60%
	同規模	4.3%	8.7%	
メタボ該当者 %	阿蘇市	16.0%	↑17.1%	減少
	同規模	16.4%	17.7%	
メタボ予備群 %	阿蘇市	11.3%	→11.3%	減少
	同規模	11.0%	10.7%	

3)重症化予防すべき対象者の割合

年度	メタボ 該当者 2項目以上	HbA1c6.5 治療中7.0以上	2度高血圧 以上	LDL180以上	心房細動	慢性腎臓病		実数
						尿蛋白	GFR50未満	
H25	365人	144人	86人	113人	25人	26人	73人	689人
	15.6%	6.2%	3.7%	4.8%	1.1%	1.1%	3.1%	29.5%
H28	↑417人	↑274人	↑108人	↓69人	28人	27人	68人	776人
	↑17%	↑14.1%	↑4.5%	↓2.8%	1.1%	1.1%	↓2.8%	↑31.6%

4)糖尿病の治療状況

厚労省様式 3-2								3大合併症							
		糖尿病		インスリン療法		人工透析									
		被保険者数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
H25	A	B	B/A	C	C/B	H	H/B	I	I/B	J	J/B	K	K/B		
	全体	7855	970	12.3	91	9.4	20	2.1	86	1.1	70	7.2	31	0.4	
	64歳以下	5781	403	7.0	43	10.7	15	3.7	37	0.6	22	5.5	12	0.2	
	65歳以上	2776	567	20.4	48	8.5	5	0.9	49	1.8	48	8.5	19	0.7	
H28	全体	7855	1073	13.7	104	9.7	18	1.7	67	0.9	63	5.9	33	0.4	
	64歳以下	4798	384	8.0	42	10.9	14	3.6	26	0.5	27	7.0	15	0.3	
	65歳以上	3057	689	22.5	62	9.0	4	0.6	41	1.3	36	5.2	18	0.6	

- まとめ
- 国保総医療費は入院の減少により抑制された。
- 予防すべき生活習慣病の医療費割合では、脳血管疾患・虚血性心疾患は減少し、糖尿病と腎不全(透析有)の増加が目立つ
- 特定健診受診率や特定保健指導実施率は同規模自治体と比べて高いが、国の目標値に達成していない
- 特定健診の結果では、重症化予防対象者が増加している。
- 糖尿病の治療状況では、3大合併症(腎症、網膜症、神経障害)や脳血管疾患、虚血性心疾患等の合併が多い。

☆第2期保健事業計画

中長期目標	慢性腎不全による透析、脳血管疾患、心血管疾患が総医療費に占める割合の抑制　H28年度　11.79%→減少
短期目標	特定健診受診者の糖尿病患者(HbA1c6.5、治療中HbA1c7.0以上)の割合14.1%→減少 特定健診受診者の糖尿病未治療者の割合44%→減少
保健事業の取り組み	①特定健診受診率・特定保健指導率の向上(60%以上) ・受診率向上対策(受診啓発、健診受診勧奨、医療機関での個別健診の推進、健診リピーターの確保等)。 ・地区担当保健師、管理栄養士による受診者への健診結果説明と保健指導・栄養指導を実施する。 ②糖尿病性腎症の重症化予防(対象者への指導率　100%) ・糖尿病が重症化するリスクの高い特定健診後の医療機関未受診者や中断者に対し医療機関への受診勧奨を実施する。 ・医療機関治療中で、重症化するリスの高い対象者へ医療機関との連携による保健指導、栄養指導を実施する。 ③脳血管疾患の重症化予防(対象者への指導率　100%) ・脳血管疾患の最大リスクである高血圧でⅡ度高血圧(160/100mmHg)以上の方へ受診勧奨・保健指導・医療との連携等を実施する。 ・重度の脳梗塞になる可能性の高い「心房細動」の方に医療機関受診勧奨や保健指導を実施する。 ④虚血性心疾患の重症化予防(対象者への指導率　100%) ・心電図で異常所見(ST変化)があった人で医療機関未受診者に対して受診勧奨を実施する。 ・LDLコレステロールは高値(180以上)の方は単独リスクでも受診勧奨を行う。その他はリスク状況によって受診勧奨、保健指導を実施する。 ・CKD(慢性腎臓病)の重症度分類の高い人への受診勧奨や保健指導を実施する。 ⑤広く住民に啓発する取り組み 阿蘇市総合計画の基本理念「健康で安心なまちづくり」を実現するために、住民に自分の健康を守る主体的な取り組みが必要であることを意識づける啓発を実施する。 (啓発内容)・健康診査(特定健診・がん検診)を受診して、自分の身体データを理解することが、健康づくりのスタートとなる。 ・阿蘇市の社会保障の実態(医療・介護等のデータ)やインセンティブ制度を理解し、みんなで阿蘇市の健康づくりに参加する。